

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物は、自治体の規定に沿って適切な管理、処理をしている。 ・紙ごみはリサイクル施設に持ち込み処理をしている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・昼休み時間は社内の電灯を消し、省エネに取り組んでいる。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、社内の電気はすべてLEDを使用するよう徹底している。							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、クールビズやウォームビズの励行、社用車の一部ハイブリッド化によるCO2排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び日々の生活の中で、ペットボトルやレジ袋などの使用削減、リサイクルに取り組んでいる。 ・作業現場では無駄な伐採をなくし、生物多様性の保全に配慮している。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙の利用により、紙の削減に取り組んでいる。 ・再生用紙の利用を推進し、古紙はリサイクルにまわしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。 ・事業所内設備に節水器具を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙を利用した製品を積極的に購入するよう取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・家庭で消費しきれない菜園野菜や果物等を職場で配布することで、食品ロス削減に取り組んでいる。 ・会社行事及び昼食時の食べ残し0を実施している。	1	2				6.4							12.3		14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・執務室や休憩室内に観葉植物を多数設置し、オフィスの緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15						
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・出張や現地作業等会社を離れた時の弁当や飲料等の廃棄物は、会社に持ち帰り、適切に処理(リサイクル)をしている。 ・プラスチック使用削減のため、マイボトルの使用を推奨している。												12.2 12.5		14							
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・一部の社用車はハイブリッド車である。また、徒歩・自転車での通勤も推奨している。										9.4		11.2		13.1 13.3								
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2			

